

□ ■ 2024 年を迎えて、タイ 新政府と経済政策 ■ □



セーター・タウィーシン氏、第 30 代タイ王国首相兼財務大臣

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ナムタンです。

タイ王国は 2023 年 8 月に新しい政府を選出し、政権交代が行われました。第 30 代タイ王国首相であり、財務大臣を兼任するセーター・タウィーシン氏が新たな国のリーダーとなりました。新政権が掲げる最も大きな目標は、経済問題の迅速な解決です。その達成のため、タイ王国は 2023 年から 2027 年にかけての第 13 次国民経済社会開発計画を策定しました。

政府は、この計画に基づき、生産およびサービス業の発展を促進するための政策を立案しています。以下に、セーター首相の指導の下で実施される予定のプロジェクトの詳細と例を挙げます。

① 高付加価値の農産物および、農産加工物の生産支援

これまで、タイの農業業界では「多く生産しても収入が少ない」という状況が見られました。そのため政府は、加工イノベーションの導入によって「少なく生産しても収入を増やす」ことを目指しています。現在の政府が推進するプロジェクトの具体的な方針は以下の通りです。

- ハラル食品の原則を考慮しつつ、効率的な牛の屠殺技術の新技術導入を支援する。最大で1日に200頭まで処理できるよう屠殺場の生産効率を向上させ、中東諸国への輸出を増加する。
- 気候変動対応の新種の米の開発を促進し、その新種の米を実際に栽培できるように支援する。
- オーガニック農業の面積を現在の140万ライ^{*1} (2,240 km²) から250万ライ (4,000 km²) に増やし、農産物の価値を向上

*1「ライ」は土地面積の単位で、1ライは1600㎡です。

②質とサステナビリティに重点を置いた観光産業の促進

タイ国内の観光産業からの収入は、2015年から2019年の間に年間2.3%成長し、2019年の国内総生産（GDP）の18%を占めていました。

COVID-19のパンデミック後、タイの観光産業は質より量の面で成長しており、訪問者数は増加している一方で、観光客一人あたりの支出が減少しています。タイの観光産業は、豊かな自然資源、美しい文化芸術、そして親しみやすいタイ人の人柄が主な魅力であり、これらは他国との競争において大きな利点となっています。そのため、観光産業だけではなく、観光客の消費を促進する必要があります。今後の政府による観光産業の促進策の例は以下の通りです。

- スコータイ県、アユタヤ県、カラシン県など、マイナーな観光地の活性化
- 国際展示会（MICE）^{*2}参加者向けのファストトラックビザの導入

*2 MICEとは、企業等の会議（**M**eeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（**I**ncentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（**C**onvention）、展示会・見本市、イベント（**E**xhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称です。

- ソンクラ県サダオの国境における、外国人旅行者向けの入出国申告書（TM.6）提出免除措置の検討

- プークット空港の第2フェーズ開発計画および他の空港の開発



画像：国全体に国際空港を分散させる

- タイに長期滞在する外国人観光客の滞在期間を延長する政策の検討。
 これにより、滞在期限が切れるために一時的に国外に出て再入国する必要がある長期滞在希望の外国人観光客の負担軽減をめざす。



画像：フリービザ

③自動車産業から電気自動車産業への転換支援

タイは ASEAN 地域における自動車および自動車部品の主要な生産拠点であり、2019 年には内燃エンジン車の生産能力が 200 万台に達しました。しかし、現在の市場は電気自動車（EV）への移行が進んでいます。このため、タイの現在の生産構造と技術を見直し、今後の電気自動車の生産を支える体制を整える必要があります。タイは EV3.5 政策に基づき、2030 年までに電気自動車 725,000 台と電動バイク 675,000 台の生産、および 15,000 箇所以上の充電ステーションの設置を目指しています。政府による支援策の例は以下の通りです。

- EV 3.5 政策により、公共交通機関と政府機関で内燃エンジン車から電気自動車への転換を促進する。この政策は投資委員会（BOI）、産業省、エネルギー省、物品税局、税関により策定され、製造業者と消費者の両方を支援する。補助金、輸入税および消費税の減税などの特典を提供し、ゼロエミッション車（ZEV）の生産目標の達成を目指す。電気バッテリー工場および、電気バッテリーの重要部品の国内生産基盤の設立を奨励する。
- 廃車処理方法の策定に向けた研究の促進。
- 電気自動車および電気自動車部品事業者向けの低利融資を支援。

④高付加価値の医療・健康センターの設立の促進

高付加価値の医療・健康センターの設立および、国内のヘルスツーリズムに関する研究と技術の促進を行います。特に、世界的に有名なタイ式マッサージやスパをはじめとするタイの健康・医療サービスは、アジア太平洋地域で 4 番目に高い市場価値を持っています。しかし、一部の施設における品質と基準の信頼性に問題があるため、これらの信頼性を向上させるための規制改善と施設開発が必要とされています。

タイの医療機器および器具市場では、低価値の医療消耗品の輸出が全体の 88%を占めています。政府は、高価な医療機器の品質と製造技術を向上させ、海外からの輸入を減らすことを目指しています。この取り組みの具体的な例として以下のような政策やプロジェクトがあります。

- アンチエイジング医学、代理母、幹細胞利用、不妊治療技術など、高度な医療サービスへの民間投資を促進する。
- コロナウイルス感染症の治療に使用された「ファータライゾン」といったハーブなど、商用を目的としたタイのハーブの研究・開発を促進する。
- BOI は、あらゆるタイプの事業者に対し、高齢者向けの医療機関の設立、医療機器・器具・薬品の生産、クリニカルリサーチビジネスの支援の実施を目指す。

⑤ 民間投資を促進するためのロジスティクス戦略

現在の貿易競争、パンデミック、そして継続中の戦争の状況は、世界中のサプライチェーンに影響を及ぼしています。そのため、ウイン・ウインの関係を築ける協力国を作る必要があります。タイの立地は、地域や大国間の関係構築のためのゲートウェイおよび、接続点とすることができます。便利な輸送システムは、国の投資価値と商業活動を増加させるのに役立ちます。交通と輸送を促進する政策の例は以下の通りです。

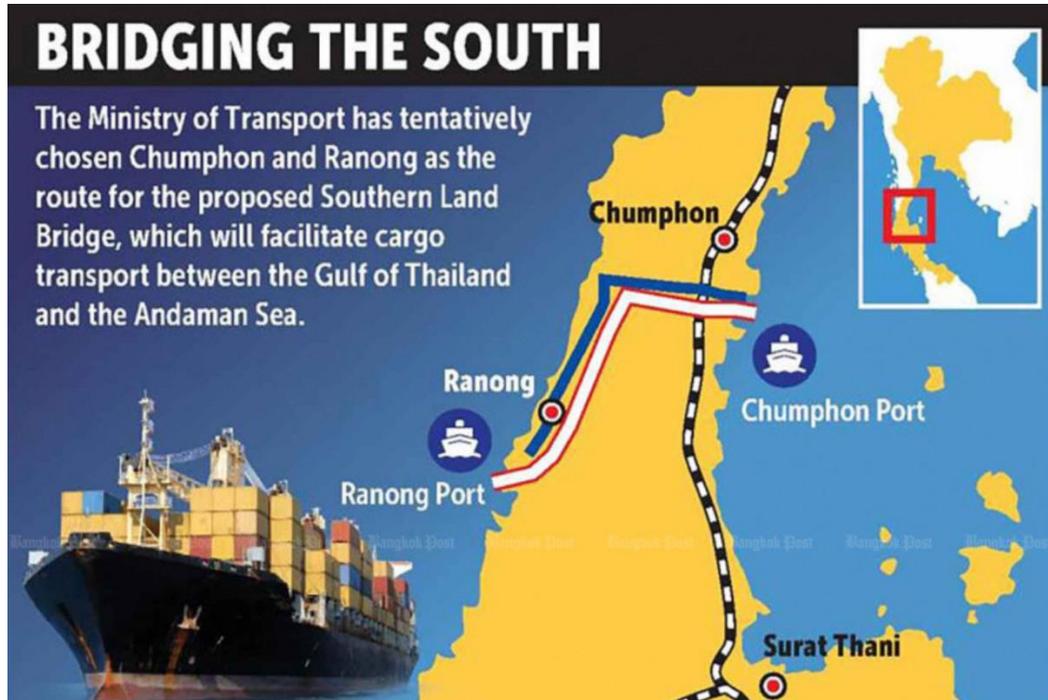
- 中国南部、ラオス、タイを結ぶ高速鉄道の開発。



画像：高速鉄道

- アンダマン海とタイ湾を結ぶ「ランドブリッジ」の建設。

当政策により、船舶がシンガポールまで迂回がなくなることで航路の短縮が可能となる。これは現在、費用対効果とビジネス上の実現可能性を検討している段階で、このプロジェクトの成功により年間154億バーツの収入が見込まれている。



出典：[Thailand Post](#)

⑥アセアンの電子およびデジタル産業の促進

電気・電子産業はタイの主要産業であり、全世界で13番目に大きな輸出業界となっています。輸出総額は1.9兆バーツを超え、タイの全輸出品の24.3%を占めています。しかし、この産業は主に外国直接投資に依存しており、高度な製造技術は外国からのノウハウに頼っています。

その結果、タイのデジタル産業は技術開発の遅れや技術の不足、法規制の不備など、外国投資を引き付けるのに不利な条件に直面しています。そのため、2016年にデジタル経済および社会省（Ministry of Digital Economy and Society）が設立され、様々な政策が推進されています。これらの政策は関連する規制の調整を行い、タイがThailand 4.0に進むための目標を設定しています。また、2027年までにGDPを25%増加させることを目標としています。現在進行中の政策は以下の通りです。



デジタル経済社会省による GDP の目標

- デジタル・イースタン・エコノミック・コリドー（EECd）またはデジタルパークタイランド、チョンブリ県：デジタルスタートアップエコシステム（デジタルパーク）内でのデジタルビジネスの開始を支援することを目的としている。すべてのセクターにわたる知識の開発および伝達の中心地となることを目指す。



デジタルパークタイランド

- 2023 年の新政権発足以来、様々な支援策や政策が積極的に推進されている。これらの政策は、タイでビジネスを行いたい外国の投資家や企業を支援し、動機づけることを目指しています。タイ投資委員会（BOI）は、国内外からの投資をさまざまな形で支援しており、各産業と業種に対して、さまざまな特典を提供している。主な目標は、政府の経済開発計画に基づき、医療、農業・食品、電子、デジタルを含む 10 の主要産業において、革新、競争力、そして包括性をさらに強化することである。



タイの「新経済時代」への加速

新政府が発足し、政府の政策、方針が明らかとなった今は、タイでのビジネス投資の絶好の機会といえるのではないのでしょうか。さらに、タイ投資委員会（BOI）が提供する投資支援政策も利用できますので、これらを有効活用することは、タイにおけるビジネス展開を強化するための素晴らしいオプションといえます。

出典：

https://www.nesdc.go.th/ewt_news.php?nid=13651&filename=develop_issue

<https://www.thaigov.go.th/news/contents/details/76456>

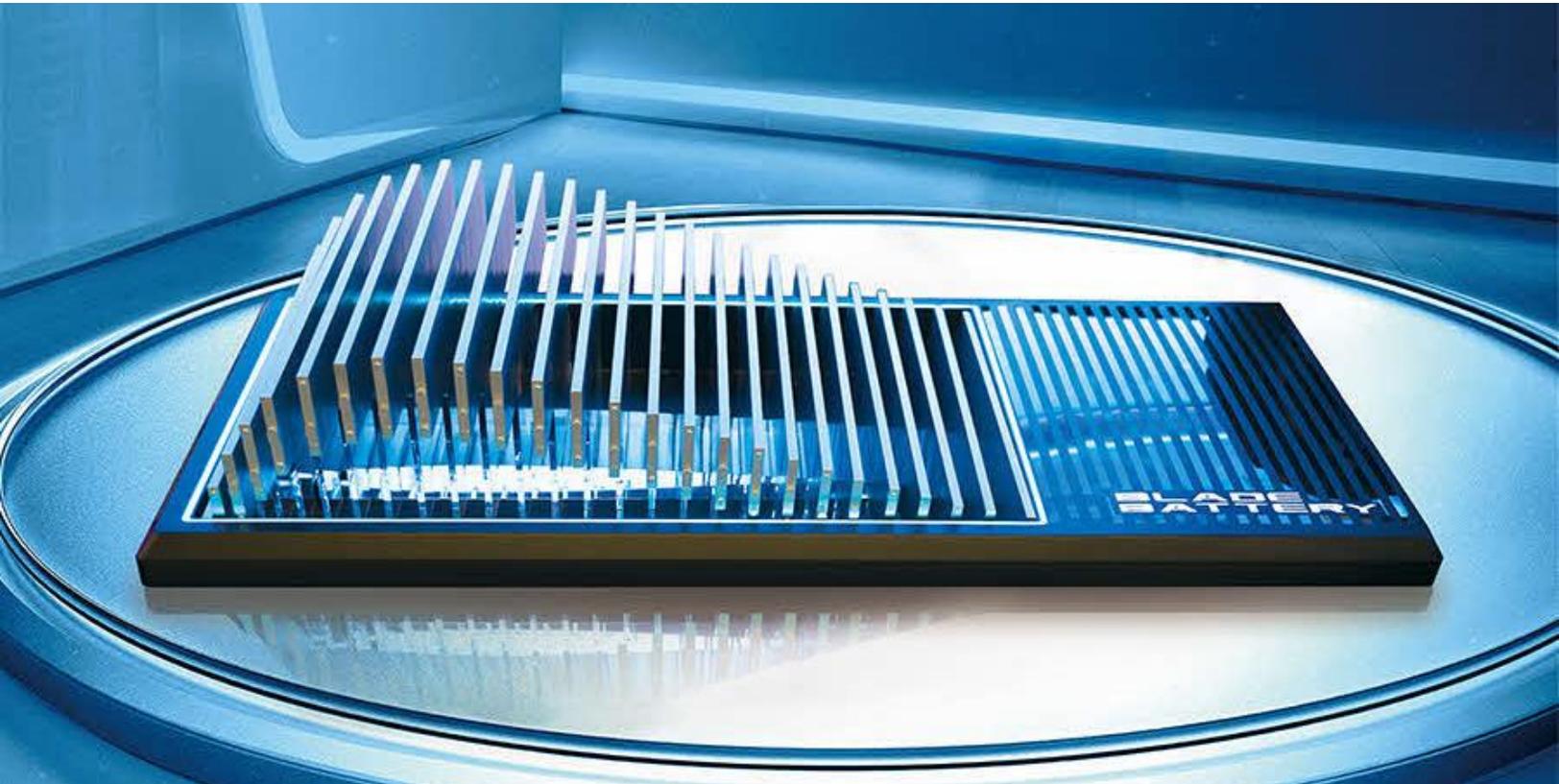
<https://kamphaengphet.immigration.go.th/การยกเลิการใช้-ใบ-ตม-6-๓๗/>

<https://workpointtoday.com/special-items-srettha/>

https://www.boi.go.th/index.php?page=business_opportunities_detail&topic_id=117526

https://www.nesdc.go.th/article_attach/article_file_20230307173518.pdf

□ ■ タイのバッテリー産業の現況と将来のチャンス ■ □



BYD のブレードバッテリー

出典：[BYD](#)

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのグラフです。

2023年1月18日、タイの副報道官は、タイ南部のパンガー県で約1480万トンのリチウムが含まれる2つのリチウム鉱床が発見されたことを発表し、これが世界で3番目に大きな規模の鉱床であることを明らかにしました。しかし、翌日になると、工業省はこの1480万トンの鉱床にはリチウムイオンバッテリーの製造に使えるリチウムだけでなく、他の鉱物も含まれていることを公表しました。それにもかかわらず、この発表により、タイがASEAN地域におけるバッテリー生産の主要拠点となる可能性が高まり、バッテリー、電気自動車、電力エネルギー関連の市場において、外国投資家をタイに引き寄せる機会が増加しています。

現在、タイのバッテリー産業にはどのような主要プレーヤーが存在し、産業全体の傾向はどのようになっているのでしょうか。今回は、タイのバッテリー産業の現在の状況と将来の展望について詳しくお話ししたいと思います。

・世界のバッテリー産業の現状

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

世界のバッテリー産業は、引き続き好調を維持しています。特に 2022 年の電気自動車（EV）バッテリー市場は 564 億ドルに達し、年率 19.9%の著しい成長が見込まれています。この成長は、世界的に拡大している EV 市場の影響を大きく受けており、バッテリーは EV のコストの 50%以上を占める非常に重要な要素であるためです。

世界の多くの国では、バッテリー産業の成長を促進するために、以下の 3 つの主要な政策を共通して採用し、支援を行っています。

- ① 新たな需要を創出するための政策（New demand-driven）
- ② 法律や規制を通じた産業への投資の促進政策（Regulation-driven）
- ③ 政策予算による技術研究と開発の促進政策（Technical-driven）

これらの政策により、バッテリー産業は今後も持続的な成長が見込まれており、世界経済におけるその重要性が増しています。

・現在のタイのバッテリー需要



2023 年 9 月に発売され、タイの人々に注目された電動車「BYD Seal」

出典：[BYD](#)

タイのバッテリー需要に関する展望ですが、SCB EIC（SCB Economic Intelligence Center）の報告によると、タイのバッテリー需要は 2030 年までに少なくとも 36GWh に達すると予測されています。これは電気

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

自動車の普及促進と再生可能エネルギーによる電力生産拡大によるもので、「30@30」政策^{*1}と国家電力開発計画に基づくバッテリーエネルギーストレージシステム（BESS）^{*2}の導入計画が背景にあります。

*1：「30@30」政策は、国家電気自動車政策委員会によって設定され、2030年までにタイで生産される自動車の30%を電気自動車（EV）が占める目標です。

*2：BESS（Battery Energy Storage System）は、電力の蓄積と放出を管理するためのバッテリーシステムを指します。これは一般的に再生可能エネルギーの統合、電力供給の安定化、ピークシフト、非常時の電力供給など、さまざまな用途に使用されます。

国家電気自動車委員会は、電気自動車および電動バイクの使用を支援する施策の成功を評価しており、タイ国内の電気自動車市場は継続的に急速な成長を遂げています。2022年には新しい電気自動車の登録が260%増加しました。これにより、タイはグローバルなバッテリー事業者の注目を集め、大規模なバッテリー工場の投資先としての地位を確立しています。政府の明確な電気自動車生産促進政策が、これらの動きを後押ししているのです。

・日系の HEV バッテリー事業者



トヨタ C-HR の HEV バッテリー

出典：[Toyota](https://www.toyota.com)

日本のバッテリー業界の大手であるトヨタは、タイのチャチュンサオ県にあるゲートウェイ工業団地で ASEAN 地域初のバッテリー工場を施設しました。この工場では、C-HR ハイブリッドやカムリハイブリッドなど、トヨタのハイブリッド車両用のバッテリーを製造し、タイ国内の販売だけでなく、国外への輸出も行っています。これは、トヨ

夕環境挑戦計画 2050（Toyota Environment Challenge 2050）に基づいた取り組みで、炭素排出量を削減し、環境に優しい車両の数を増やすことを主要なミッションとしています。

さらに、トヨタは「Hybrid Battery Life Cycle Management（3R スキーム）」という明確なハイブリッド車用バッテリーの処理計画を立てています。この 3R は、Rebuild（再構築）、Reuse（再利用）、Recycle（リサイクル）から成り立っており、将来の車両用に新世代のバッテリー生産をサポートする体制も整えています。また、生産に伴う廃棄物の管理計画も策定しています。これらの取り組みにより、タイ国内でのハイブリッド車用バッテリーのコストを下げ、消費者にメリットを提供しています。

・日本以外のタイ進出を予定している EV バッテリー事業者

タイに投資を計画している外国の EV バッテリー事業者については、タイ政府が世界の EV バッテリーメーカーと交渉中で、現在少なくとも下記の 3 社が投資への関心を示しています。

① Contemporary Amperex Technology Co. Limited (CATL)



Contemporary Amperex Technology Co. Limited (CATL) は、市場シェア 34%を誇る世界最大の中国 EV バッテリーメーカーであり、BMW、ホンダ、トヨタ、フォルクスワーゲン、プジョー、ボルボなどのグローバルカーブランドや、上海のテスラ工場を主要顧客としています。

② BYD



BYD は、優れた熱放散能力と高いエネルギー蓄積能力を持つ革新的なブレードバッテリーを製造している電気自動車メーカーであり、市場シェアは 12%と世界第 3 位です。BYD 自身のブランドの車両に加えて、フォードや中国のテスラへの供給も行っています。同社は中国全土に 11 の製造施設を持ち、年間 35GWh の生産能力を有しています。また、ウォーレン・バフェットなど投資家たちも BYD に出資しています。

③ SVOLT



SVOLT（エスポルト）は、グレートウォールモーターズの子会社であり、中国の張家港に本社を構え、ドイツのフランクフルトに地域オフィスを持つEVバッテリーメーカーです。SVOLTは昨年、世界で10位のバッテリーメーカーにランクインし、市場シェア1.3%、生産能力2.6GWhを有しています。主な顧客には、GWM、Geely、Leapmotor、Dongfeng、Voyah、Seres、Hozon Auto、Xpengなどの中国の自動車ブランドが挙げられます。

・タイのバッテリー市場の課題

タイのバッテリー市場には多くのビジネスチャンスがありますが、技術競争、原材料の調達、生産コスト、そして環境問題など、注目すべき課題も存在します。タイのバッテリー産業およびその利用においてフォローすべき主な課題は以下の3点だと考えられます。

① 新しい技術の導入による競争の激化

例えば、全固体電池の使用や、バッテリーパッキングプロセスの変更などがあります。

② 原材料の高コストに依存している生産コスト

価格は下落傾向にあるものの、国際的な紛争や貿易障壁などの外部要因による価格変動の可能性も考慮すべきです。

③ 使用済みバッテリーのリサイクル問題

将来のバッテリー生産にプレッシャーをかける重要な環境問題となります。

・最後に

現在のタイのバッテリー産業の状況は、代替エネルギーを利用した自動車が世界的に重要なトレンドとなっていることを反映しています。タイは、成長が著しい電気自動車の消費者市場だけでなく、長い歴史を持つ自動車製造国としても位置づけられています。そのため、EVなど自動車に関連する技術の発展は、タイのガソリン車生産基盤に大きな影響を与えています。

その一方で、タイ投資委員会（BOI）は、国家機関として電気自動車の生産と使用を促進する役割を果たしており、2017年から電気自動車の生産に関する投資促進を開始しています。現在、BOIは全ての種類

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

の電気自動車の生産を促進するとともに、電気自動車用のプラットフォームの生産、電気自動車の部品と装備の生産、そしてバッテリー製造までの広範な支援を提供しています。さらに、充電ステーションやバッテリー交換ステーションのビジネスも支援しており、タイの電気自動車産業のエコシステムとして発展させています。

電動バイク用バッテリー製造事業向けの BOI の EV 奨励パッケージ

条件	1. 総合計画 (Package) を提出すること 2. 奨励証書発給日から 3 年以内に電動バイクおよびバッテリーを製造すること (正当な理由が無い限り、機械の輸入期限の延長は認められない) タイ国内販売の場合、製品は UN R136、UN R75、UN R78 等の指定された規格を取得すること
恩典	法人所得税を 3 年間免除 + 2022 年以内に製造を開始する場合は免除期間を 1 年間追加 + 奨励証書発給日から 3 年以内にモジュール工程からバッテリー製造を開始する場合は、免除期間を 1 年間追加 + 奨励証書発給日から 3 年以内にその他の主要部品 (BMS、トラクションモーター、DCU) を追加製造する場合は、免除期間を 1 部品につき 1 年間追加 + 研究開発を行う場合は免除期間を 1-3 年間追加 工業団地または奨励された工業地区に立地した場合の追加恩典はない

電気三輪車用バッテリー製造事業向けの BOI の EV 奨励パッケージ

条件	1. 総合計画 (Package) を提出すること 2. 奨励証書発給日から 3 年以内に電気三輪車およびバッテリーを製造すること (正当な理由が無い限り、機械の輸入期限の延長は認められない) タイ国内販売の場合、製品は UN R136 等指定された規格を取得すること
恩典	法人所得税を 3 年間免除 + 奨励証書発給日から 3 年以内にモジュール工程から電池製造を開始する場合は、免除期間を 1 年間追加 + 奨励証書発給日から 3 年以内にその他の主要部品 (BMS、トラクションモーター、DCU) を追加製造する場合は、免除期間を 1 部品につき 1 年間追加 + 研究開発を行う場合は免除期間を 1-3 年間追加 工業団地または奨励された工業地区に立地した場合の追加恩典はない

電気バス・電気トラック用バッテリー製造事業向けの BOI の EV 奨励パッケージ

条件	1. 総合計画（Package）を提出すること 2. 奨励証書発給日から3年以内に電気バスまたは電気トラックおよびバッテリーを製造すること（正当な理由が無い限り、機械の輸入期限の延長は認められない） タイ国内販売の場合、製品は UN R100 等指定された規格を取得すること
恩典	法人所得税を3年間免除 + 奨励証書発給日から3年以内にモジュール工程からバッテリー製造を開始する場合は、免除期間を1年間追加 + 奨励証書発給日から3年以内にその他の主要部品（BMS、トラクションモーター、DCU）を追加製造する場合は、免除期間を1部品につき1年間追加 + 研究開発を行う場合は免除期間を1-3年間追加 工業団地または奨励された工業地区に立地した場合の追加恩典はない

出典：[BOI](#)

今回の記事で紹介した通り、タイはASEANで唯一、電気自動車産業に対する包括的な投資促進を行っている国であり、アジアの電気自動車生産のハブ（EV HUB）としての地位を確率する大きな可能性を秘めています。日本のバッテリー事業に関わる事業者にとっては、現在のEVおよびハイブリッド車のビジネス成長の状況を鑑み、タイ市場を研究する絶好のタイミングであると言えるでしょう。

参考1：<https://www.scbeic.com/th/detail/file/product/9337/gra50tkf2n/In-focus-Battery-20231207.pdf>

参考2：<https://www.bangkokbiznews.com/business/economic/1070448>

参考3：<https://www.ev-roads.com/content/32757/5-ผู้ผลิตแบตเตอรี่อีวียักษ์ใหญ่ของโลก-อยู่ในไทย-2>

参考4：<https://techsauce.co/news/toyota-latest-hev-battery-plant-is-in-thailand-2019>

参考5：<https://thestandard.co/thailand-number-3-in-the-world-lithium/>

□ ■ バンコク近郊 “バーンカチャオ・サムットプラーカーン” で楽しむ大自然 ■ □

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、アイです。

緑地に魅了され、世界トップのオゾン発生源とされる緑豊かな自然に囲まれた新鮮な空気を体験したい方に、バンコクの肺とも称される「クンバーンカチャオ・サムットプラーカーン」をご紹介します。

【バーンカチャオ・サムットプラーカーンとは】

緑豊かな「バーンカチャオ」又は「クンバーンカチャオ」は、バンコクの南、サムットプラーカーン県プラプラデーヌ都に位置してあります。川の湾曲によって形成され、豚のお腹の様に見える大きな緑地で、チャオプラヤー川に囲まれている為、“クンカポム”と呼ばれています。

かつては、密集したマングローブの森林と果樹園が広がり、新鮮な空気と豊かな生物多様性を持つ自然資源が見られる場所でした。クンバーンカチャオには、水路が流れ、流された土砂が土地を肥沃にしているため、様々な種類の果樹を栽培し、さまざまな風味の製品へと加工が可能です。

また、クンバーンカチャオには、緑豊かな木々が密集しており、素朴の生活スタイルが残っています。これが、空気汚染が進むバンコクから、新鮮、きれいな空気とリラクゼーションを求める観光客を惹きつける魅力となっています。

クンバーンカチャオは、現代の観光ニーズに対応した様々な魅力的な要素が詰まっています。さらに、観光客が体験できる様々なアクティビティがあるのも特筆すべき点です。その中でも「バーンゴープア」は、タイで最も注目を集めている低炭素コミュニティ観光地の一つです。

【お勧めの観光スポット】

① バーンゴープア



出典 : <https://thai.tourismthailand.org/Attraction/>

「バーンゴープア」は、チャオプラヤー川沿いに位置しているコミュニティで、村民は主に農業を営んでいます。この地域の有名な果物であるナムドクマイ・マンゴーをはじめ様々な種類の野菜や果物を栽培しています。さらに、このコミュニティは豊かなニッパヤシの森林が特徴的で、その美しい風景が訪れる人々を魅了しています。

バーンゴープアを訪れると、まず目に入るのは"クロンペー川"です。ここではカーボンフリーボートを漕ぎながら、村民の生活様式や運河の風景を楽しむことができます。この自然が創り出すトンネルは、クンバーンカチャオの新たな観光スポットとなっています。

② バーンナムプン水上マーケット



出典 : <https://www.shutterstock.com/th/>

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

サムットプラカーン県プラプラデーヌ都にあるバーナムブン水上マーケットは、エコツーリズムを推奨し、地元の製品を販売することで村民が収入を得ることを奨励する観光名所です。

マーケットには、数多くのお店が並び、地元の料理やお菓子などが販売されています。また、バーナムブンコミュニティの人々が作った OTOP 製品も取り扱っています。OTOP（One Tambon One Product）とは、タイの各地域が誇る伝統的な製品や工芸品のことを指します。

しかし、このマーケットは土曜日と日曜日のみ開催されますので、訪れる際は日程の計画を忘れずに。ここでは、地元の生活文化を感じつつ、自然を楽しむことができます。地元の美味しい料理を味わいながら、地元の人々が作り出すハンドメイドの製品を見つける楽しみもあります。

③ シーナコーン・クアンカン公園



出典：<https://thai.tourismthailand.org/Attraction>

この公園は家族や友だちとリラックス、運動、サイクリングや魚の餌やりなど、憩いの場として非常に人気の高いスポットです。園内にはサイクリングロードが整備されており、一定間隔で休憩所が設けられています。自転車に乗りながら公園内を巡ることで、美しい自然風景を存分に楽しむことができます。サイクリング中に立ち寄って

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

ただきたいのが、豊かな自然に囲まれたバードウォッチングタワーです。ここからは、公園の美しい風景を一望することができ、様々な種類の鳥を観察することも可能です。

④ タイの闘魚博物館



出典：<https://thai.tourismthailand.org/Attraction>

プラプラデーン都のバーンカチャオ地区に位置する闘魚博物館は、エコツーリズムを推進し、学習やレクリエーションを目的に設立されました。ここでは、闘魚に関する様々な展示や、多種多様な闘魚を鑑賞することができます。訪れる人々は、闘魚の生態や種類について学ぶことができます。

⑤ ワット・ブラフマ・マハテワライ



出典：<https://thai.tourismthailand.org/Attraction>

ワット・ブラフマ・マハテワライの内部には、高さ9メートルのガネーシャ神がマハラジャの姿勢で祀られ、礼拝と祝福を受けます。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.112

ガネーシャ神は障害を取り除き、成功に導く偉大な知恵の神とされています。また、芸術と文学の神でもあります。

【最後に】

バーンカチャオは自然、グルメ、お寺など豊富な観光資源を持つ地域です。休日にバンコク近郊で過ごす場所を探している方は、ぜひ一度、バーンカチャオの魅力を体験してみてください。自然と共にリラックスし、新鮮な空気を吸い、美味しい地元の料理を味わい、そして、神聖なガネーシャ神の祝福を受けてみてはいかがでしょうか。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：神谷 靖子 Yasuko Kamiya

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比 (%)	1.8	2.7	2.0	2.0 (9月)
人口*	千人	68,161	69,922	70,077	70,091 (11月)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,311	40,372 (9月)
失業率**	%	1.94	1.32	1.03	1.03 (9月)
最低賃金*	バンコク	331	353	353	363
	チョンブリー	336	354	354	361
	アユタヤー	325	343	343	350
	ラヨン	335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,506	14,305	14,416	14,416 (23年)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	5.45	5.45 (4月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.50 (11月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.40 (23年)
ローン金利 (MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	6.83 (23年)
SET 指数*	1975年：100	1,657.62	1,668.66	1,415.85	1,364.52 (1月)
バーツ/100円**	バーツ	29.15	26.78	24.82	24.82 (23年)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.98	35.06	34.80	34.80 (23年)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	146.57 (1月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	736,716	856,057	702,921	702,921 (23年)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	2,383 (23年)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	511.9	618.62	750.12	750.12 (23年)

*期末、**平均